

お施主様へ

本説明書は必ずお施主様へお渡し下さい。

HG型フロアヒンジ(品番:YDFS625・YDFS626) 取扱い説明書

このたびはフロアヒンジをお買い上げいただきまして
ありがとうございました。
この製品は、ドアを自動に閉じる機器です。
本書をよくお読み下さい。お読みになった後は、
本書をなくさないように保管してください。

警告用語の種類と意味

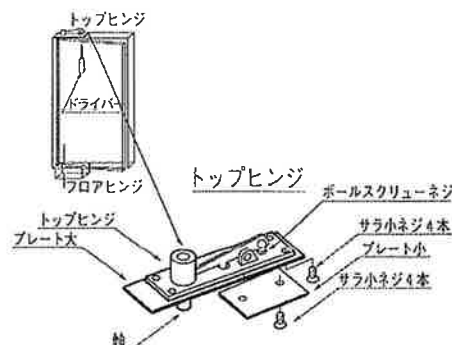
警 告 用 語	意 味
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が中程度の障害・軽傷を負う 危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 注意 1. トップヒンジのプレートははずさないで下さい。

- トップヒンジのプレートが取りついていない場合、
ドアが転倒しケガをする恐れがあります。

2. ドアを押棒・押板にぶら下がったり、ドアにぶら下がったりしないでください。 (特に子供に注意してください。)

- 手や身体をはさまれてケガをする恐れがあります。



お願い 1. ドアと枠の間に手等を不用意に置かないでください。

- 閉じてくるドアに、はさまれてケガをする恐れがあります。
- 突風等によりドアが急激に開閉することがあります。その時、身体に当たって転倒したり、
手をはさまれてケガをする恐れがあります。

2. ドア付近には美術品や工芸品等を置かないでください。

- ドアの開閉による振動や突風による急開閉の衝撃で損傷する恐れがあります。

3. フロアヒンジによって閉じかけている扉を強く押したり引いたりしないでください。

- フロアヒンジが故障する恐れがあります。

4. フロアヒンジの分解や改造はしないでください。

- 油が噴き出す恐れがあります。

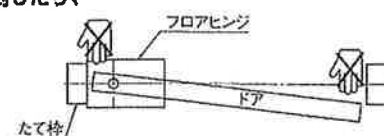
5. 清掃等でフロアヒンジに薬剤がかからないようにしてください。

もし薬剤がかかってしまった場合は、必ず水洗いを行っていないにふき取して下さい。

- フロアヒンジ内が腐食、故障する恐れがあります。

6. その他以下のようなことがありましたら放置しておくこと事故につながりますので、すみやかに建物管理者・施工者に 修理依頼をしてください。

- ① フロアヒンジから油がにじみでたり、もれている場合。
- ② ドアがゆがんだり、垂れ下がったりスムーズに動かなくなった場合。
- ③ ドア開閉時にガタつきが生じた場合。



HG型フロアヒンジ(品番:YDFS625・YDFS626) 施工取付説明書

このたびはフロアヒンジをお買い上げいただきまして
ありがとうございました。
この製品は、ドアを自動に閉じる機器です。
本書をよくお読み下さい。お読みになった後は、
本書をなくさないように保管してください。

警告用語の種類と意味

警告用語	意 味
注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が中程度の障害・軽傷を負う 危険または物的損害の発生が想定されます。

注意 1. トップヒンジのプレート小が取り付けられていることを確認して下さい。

●トップヒンジのプレート小が取り付けしていない場合、ドアが転倒しケガをする恐れがあります。

2. ドアを閉じる速度は閉扉速度調整ネジの調整で変えることができます。ただし標準閉扉速度約5～8秒を守ってください。

●速度が速くなると、出入口を通行中、閉じてくるドアに当たって転倒したり、ケガをする恐れがあります。

●閉扉速度調整ネジはゆるめすぎないで下さい。(1回転まで)

3. 各部品の取付ネジは必ず固定して下さい。

●ドアが転倒してケガをしたり、開閉時にキシミ音が発生したりする恐れがあります。

お願い 1. フロアヒンジによって閉じかけている扉を強く押ししたり引いたりしないでください。

●フロアヒンジが故障する恐れがあります。

2. 本体内部の作動油を抜いたり、注入したりしないでください。

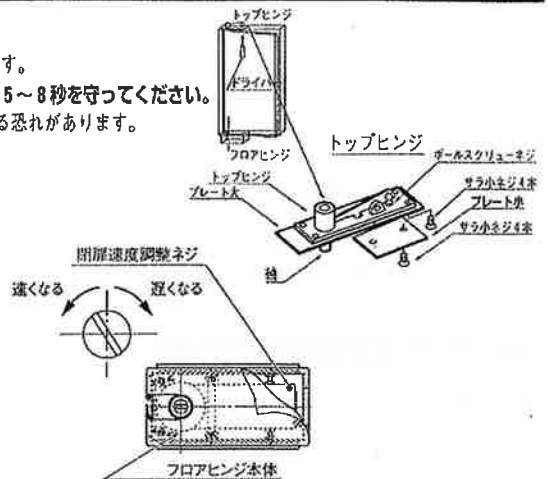
●フロアヒンジの故障の原因になったり、ドアの閉じる速度のコントロール不良による
ケガや油もれでドアや床を汚す恐れがあります。

3. フロアヒンジ本体の分解や改造はしないでください。

●油が噴き出す恐れがあります。

4. セメントケース内に水が入ってしまった場合は必ずふき取って下さい。

●フロアヒンジ本体及びセメントケースが腐食し、故障する恐れがあります。



フロアヒンジの固定

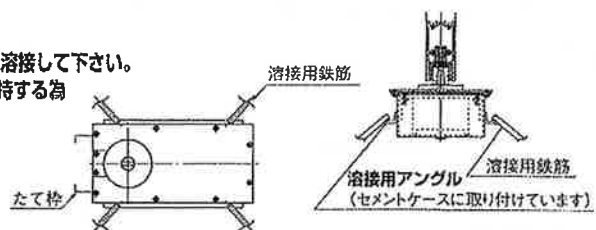
●本体固定時に溶接固定をする場合は、溶接焼けによる錆を防止する為、溶接用アングルに溶接して下さい。

●溶接にてセメントケースの塗装を傷めた場合は、HG型フロアヒンジの腐食防止構造を保持する為
塗装補修を行って下さい。

1) フロアヒンジをたて枠に取りつけてください。

2) 溶接用アングルに鉄筋を四方溶接して下さい。

3) フロアヒンジの周囲は必ずモルタルで固定してください。



フロアプレート大の取はずしと取付

●運付調整等で化粧ナット(キャップ)及びフロアプレートを取りはずした場合、
調整後はHG型フロアヒンジの防水構造を保持する為、必ず下記手順で防水シート・
フロアプレート・化粧ナット(キャップ)を固定して下さい。

1) マイナスドライバーを使用して化粧ナット(キャップ)を左回転させてゆるめます。
化粧ナットは約3回転させるとネジからはずれます。

2) フロアプレート大の特サラ小ネジ8本ははずして保管してください。
(防水シートはそのままにしておいてください。)

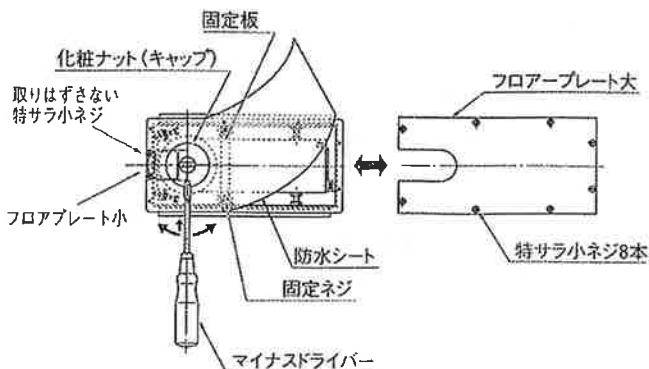
注) フロアプレート小はフロアプレート用特サラ小ネジ2本で固定されています。
ドア召合せ、チリ及び閉扉速度の調整時は、フロアプレート小用の特サラ
小ネジ2本は取りはずさないでください。

3) セメントケース上面、シャフト周辺部、防水シート表・裏、フロアプレートに砂
やほこりが付着している場合やセメントケース内に水が入ってしまった場
合は必ずウエスなどでふき取ってきれいにしてください。

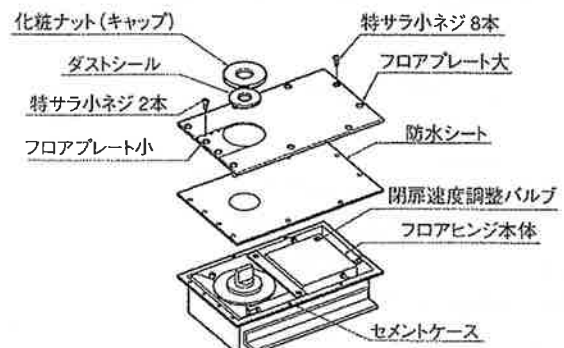
4) 防水シートの穴とセメントケースの穴の位置を合わせて下さい。

5) フロアプレート大の特サラ小ネジ8本でしっかり固定してください。
(締付トルク25±0.5N・m)

6) マイナスドライバーを使用して、化粧ナット(キャップ)を右回転(時計廻り)
させて必ずしめてください。

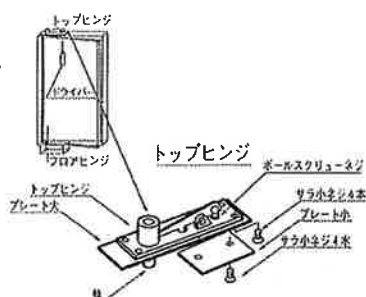


- はずす場合 左回転(反時計廻り)
- しめる場合 右回転(時計廻り)

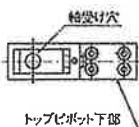


扉吊込み手順

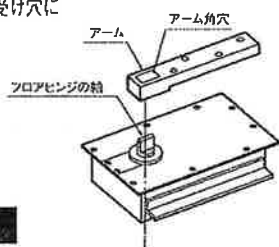
1. トップヒンジのプレート小を外し保管してください。
2. ボールスクリューネジを左回転（反時計回り）させて軸を収納します。



3. 扉を斜めにして扉に付いているアームの角穴をフロアヒンジの軸に合わせて扉を落とし込んでください。
4. 扉を90°回転させてください。（左右どちらかに）

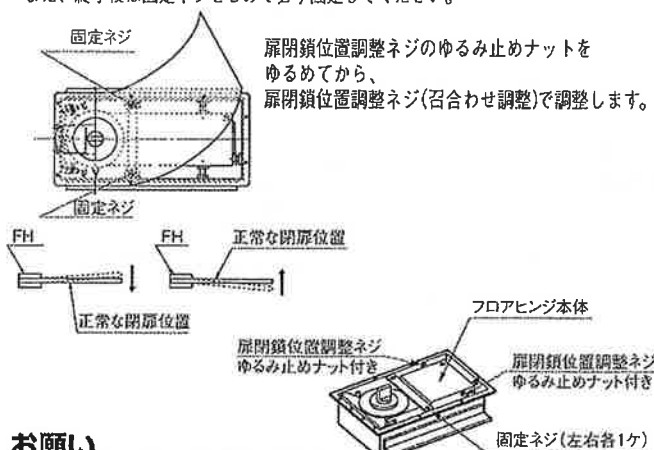


5. トップヒンジとトップヒンジ下部の軸心に合わせてトップヒンジのボールスクリューネジを右回転（時計回り）させ、軸を扉上側のトップヒンジ下部の軸受け穴に挿入します。
ボールスクリューネジは完全にしめきってください。
6. トップヒンジにプレート小を取りつけてボールスクリューネジのゆるみ止めを行います。



扉閉鎖位置の調整（召合わせ調整）

- 扉閉鎖位置が正常な位置にならない場合は、扉閉鎖位置調整ネジにて調整して下さい。
- 扉閉鎖位置の調整は固定ネジをゆるめてから行って下さい。
また、終了後は固定ネジをしめて必ず固定してください。



お願い

終了後必ずゆるみ止めナットで固定してください。
ゆるみ止めナットが固定されていないと各調整ネジがゆるみ、油もれや耐久性が低下します。

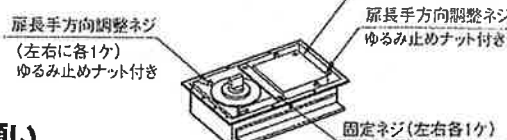
扉とたて枠のすき間調整

- 扉とたて枠のすき間（A寸法）が設定通りでない場合は扉長手方向調整ネジにて調整して下さい。

扉長手方向の調整は、固定ネジをゆるめてから行ってください。終了後は固定ネジをしめて必ず固定してください。



扉長手方向調整ネジのゆるみ止めナットをゆるめてから扉長手方向調整ネジで調整します。



お願い

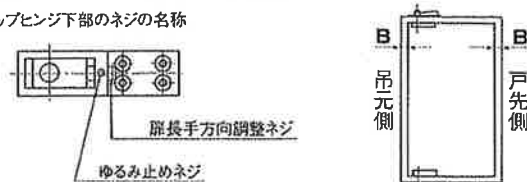
終了後必ずゆるみ止めナットで固定してください。
ゆるみ止めナットが固定されていないと各調整ネジがゆるみ、油もれや耐久性が低下します。

- 扉と枠のすき間（B寸法）が設定通りでない場合はトップヒンジ下部の調整を行ってください。

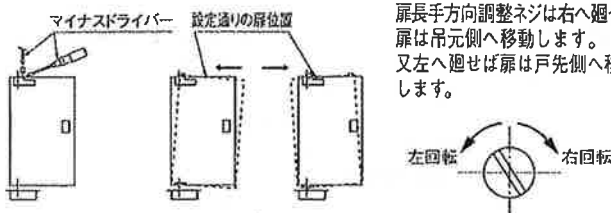
ゆるみ止めネジをゆるめてから行ってください。

終了後はゆるみ止めネジをしめて必ず固定してください。

トップヒンジ下部のネジの名称



ゆるみ止めネジを約30°ゆるめ
扉長手方向調整ネジで調整します。
扉長手方向調整ネジは右へ廻せば
扉は吊元側へ移動します。
又左へ廻せば扉は戸先側へ移動
します。



お願い

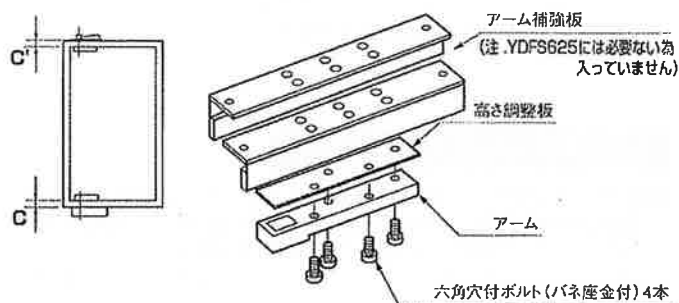
終了後必ずゆるみ止めネジを止まるところまで固定して下さい。

ゆるみ止めネジが固定されていないと扉長手方向調整ネジがゆるみ、隙子が戸先にたれてきます。

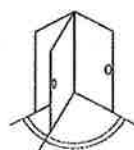
扉と上枠、床とのすき間調整

扉と上枠、床とのすき間（C、C'寸法）が設定と違う場合は高さ調整板を着脱して調整して下さい。

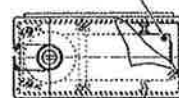
<YDFS626使用例>



開扉速度の調整



開扉速度の調整は開扉速度調整ネジで行い約5～8秒で
開扉するよう調整してください。



加工・組立をされる業者の皆様へ

HG型フロアヒンジ(品番:YDFS625・YDFS626) 加工組立説明書

このたびはフロアヒンジをお買い上げいただきまして
ありがとうございました。
この製品は、ドアを自動に閉じる機器です。
本書をよくお読み下さい。お読みになった後は、
本書をなくさないように保管してください。

警告用語の種類と意味

警告用語	意味
注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が中程度の障害・軽傷を負う 危険または物的損害の発生が想定されます。

△注意 1. 各部品の取付ネジは必ず固定してください。

- ドアが転倒してケガをしたり、開閉時にキシミ音が発生したりする恐れがあります。

お願い 1. 本体内部の作動油を抜いたり、注入したりしないでください。

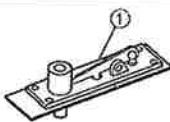
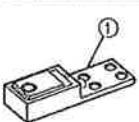
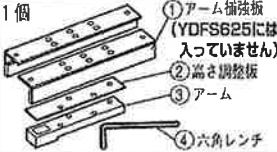
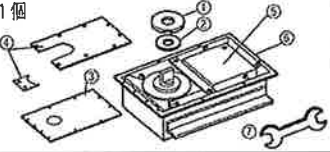
- フロアヒンジの故障の原因になったり、ドアの閉じる速度のコントロール不良によるケガや、油もれでドアや床を汚す恐れがあります。

2. フロアヒンジ本体の分解や改造はしないでください。

- 油が噴き出す恐れがあります。

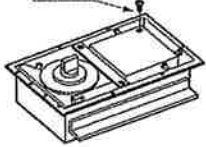
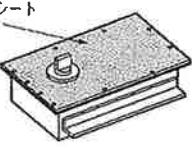
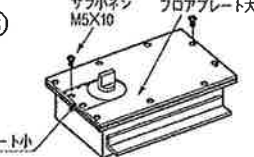
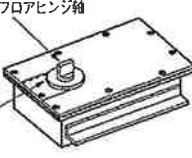
フロアヒンジセット梱包の内容

※必ず下記の部品が入っていることを確認して下さい。

名称	1 トップヒンジ	2 トップヒンジ下部	3 アーム	4 フロアヒンジ	説明書類
略 図					・加工組立 説明書 ・施工取付 説明書 ・取り扱い 説明書
明 細	①トップヒンジ 1ヶ M5×16 サラ小ネジ4本	①トップヒンジ下部 1ヶ M5×16 サラ小ネジ4本	①アーム補強板 2枚 ②高さ調整板 12×2枚 ③アーム 1ヶ ④六角レンチ 1本 ⑤アーム補強板 2枚 ⑥高さ調整板 12×2枚 ⑦アーム 1ヶ ⑧六角レンチ 1本 ⑨アーム補強板 2枚 ⑩高さ調整板 12×2枚 ⑪アーム 1ヶ ⑫六角レンチ 1本 ⑬アーム補強板 2枚 ⑭高さ調整板 12×2枚 ⑮アーム 1ヶ ⑯六角レンチ 1本 ⑰アーム補強板 2枚 ⑱高さ調整板 12×2枚 ⑲アーム 1ヶ ⑳六角レンチ 1本 ㉑アーム補強板 2枚 ㉒高さ調整板 12×2枚 ㉓アーム 1ヶ ㉔六角レンチ 1本 ㉕アーム補強板 2枚 ㉖高さ調整板 12×2枚 ㉗アーム 1ヶ ㉘六角レンチ 1本 ㉙アーム補強板 2枚 ㉚高さ調整板 12×2枚 ㉛アーム 1ヶ ㉜六角レンチ 1本 ㉝アーム補強板 2枚 ㉞高さ調整板 12×2枚 ㉟アーム 1ヶ ㊱六角レンチ 1本 ㊲アーム補強板 2枚 ㊳高さ調整板 12×2枚 ㊴アーム 1ヶ ㊵六角レンチ 1本 ㊶アーム補強板 2枚 ㊷高さ調整板 12×2枚 ㊸アーム 1ヶ ㊹六角レンチ 1本 ㊺アーム補強板 2枚 ㊻高さ調整板 12×2枚 ㊼アーム 1ヶ ㊽六角レンチ 1本 ㊾アーム補強板 2枚 ㊿高さ調整板 12×2枚 1ヶ M5×16 サラ小ネジ4本	①化粧ナット(キャップ) 1ヶ ②ダストシール 1ヶ ③防水シート 1枚 ④フロアプレート大,小 各1枚 ⑤フロアヒンジ本体 1ヶ ⑥セメントケース 1ヶ ⑦調整スパナ 2ヶ	
取付部位	上枠又は無目	上框	下框		
取付時期	加工組立時に取付け			施工時(施工される業者に引き渡し願います)	

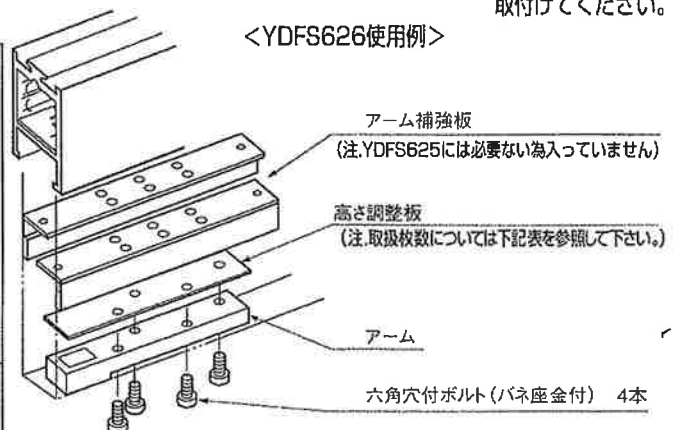
■フロアヒンジの引き渡し前の事前準備

フロアヒンジを施工される方に引き渡す際、下記の通り組み立てて
引き渡して下さい。

手順 ①  セメントケースについている、サラ小ネジ(フロアプレート取付ネジ)をは ずし、保管して下さい。	手順 ②  防水シート(ゴム+スポンジ一体部品)のゴム面 を上にし、ネジ穴に合わせ上に置いて下さい。
手順 ③  フロアプレート大,小を防水シートの上に置き、 サラ小ネジで仮固定して下さい。 但し、フロアプレート小を固定するネジは しっかり固定して下さい。 (締付トルク25±0.5N・m)	手順 ④  化粧ナット(キャップ)をフロアヒンジ軸にのせ、 手で回転させて仮固定して下さい。

■フロアヒンジアームの取付内容

アーム・アーム補強板及び高さ調整板は下図の通り障子下框部に
取付けてください。



<標準設定時のフロアヒンジ別高さ調整板取付枚数一覧表>
(標準設定: FLとのチリ10mm)

高さ調整板	HG型フロアヒンジ (90°ストップ125°制限付) YDFS625	HG型フロアヒンジ (90°ストップ95°制限付) YDFS626
l=1mm	1	1
l=2mm	1	—

※上記以外の高さ調整板はまとめて、左記フロアヒンジ
及び六角棒レンチ・調整用スパナ・説明書といっしょに
施工される方に渡して下さい。